

# BANちゃん通信

## 思いやり 13号

(令6年8月1日発行)

ファイナンシャルプランナーで  
不動産取引実務経験のある社会福祉士だから  
できることを追求します

#地域資源

オフィスBAN (社会福祉士伴行惠事務所)

シニアの安心と笑顔を支えるパートナー

伴行惠

社会福祉士 宅地建物取引士 2級ファイナンシャルプランニング技能士

こんにちは

今年の夏も熱いです。皆様いかがおすごでしょうか。  
オフィスBANはお蔭様で10年目に突入いたしました。  
ご紹介だけでここまで続けてこれたのも皆様のお陰です。  
今まで以上に皆様の身近にあり続けられる存在でありますように。  
ご挨拶のお供「BANちゃん通信」13号です。  
お付き合いいただけましたら幸いです。

令和6年8月吉日



伴行惠

### < 「伴走者」のお仕事 > 成年後見人申立ての難しさ ~2年の年月~

地域包括支援センターからの相談 姉Aさん(85歳)と弟(80歳)

独身の弟のアパートに同居をし始めた姉。経緯はいろいろあったことだ。それぞれ高齢で我が強い性格もあり、度々姉弟喧嘩をするようになっていった。だんだん喧嘩もエスカレートし、姉から毎回地域包括支援センターに電話が入り、興奮していて手に負えない状態が続いていた。

そんな矢先、弟に後ろから押され姉は転び病院に緊急搬送された。入院中はせん妄も出て錯乱し暴れる等医師も手上げとなった。認知機能の低下もある中、他に連絡がつく親族は甥だけで、渋々現れた甥は困り顔。関わりたくない雰囲気も前面に出している。弟は足腰も悪く車椅子状態で認知機能も低下しているようだ。今後姉と弟の同居は難しいとの判断となり、伴走者に声がかかった。成年後見制度の申立てを支援することと姉と弟の分離だ。

急性期病院から転院し少し落ち着いてきたところでAさんに成年後見制度利用について提案した。保佐相当との医師の見立てもあり本人の了承が必須であるが、元来の疑り深い性格もあり簡単に了解はしない。甥にも頼れない。入院も3か月限定で早々に行先を決めないとならないので、八方塞がりの状況だ。

近隣の特別介護老人ホームに相談したところ、状況を理解いただき優先的に入所を検討してもらうことが出来た。身元保証人身元引受人の条件は不安定であるが、伴走者がフォローしてくれるならという条件が付き、渋る甥にも限定的に何とか協力を得ることで話は進み無事入所することができた。入所後は徐々に落ち着き穏やかな雰囲気となり会話も楽しむ程様変わりした。白内障の影響で右目の視力は無くなり車椅子での生活となったが、自分の立場や伴走者のことも理解できるようになった様子を見て、棚上げしていた成年後見制度の利用を今なら了解してもらえるのではないかと感じ提案してみたところあっさりOKが出た。今までの関係もあるということで伴走者が保佐人として審判が下りた。最初の出会いから2年。ようやくAさんを安定の環境で支援を出来るようになり、施設も甥もそして伴走者も最初から関わってきた地域包括支援センターもほっと胸を撫でおろした。

社会制度につなげることも「伴走者」の仕事

~~寄り添いながら待ち続け支援してくれる人は中々いないから頼もしいわ~~



## テーマ「BANちゃんを知る」 ～BANちゃんの生い立ち編⑬～ 「体育館」



BANちゃんは茨城県の東海村で生まれました。東海村といえば、そうです原子力の村です。



BANちゃんは中学高校の6年間バスケットボール部でした。中学での体育館での思い出は、とても古い体育館で練習前に下級生が雑巾がけをします。あろうことか1年生の時チームメイトが床の板のささくれが手に刺さってしまいました。体育館の床の板が「さけるチーズ」状態だったのです。そんな古い体育館も、在籍中に改修することになりました。体育館を使いながらの工事です。ある時BANちゃんは、仮設に作られた渡り廊下から体育館に移動中、渡り廊下を踏み外し地面にあった木の棒を踏んでしまいました。あろうことに棒には錆びた5寸釘が刺さっていて上を向いた状態でした。悲しいかなBANちゃんは上から踏み込んでしまいました。上履き貫通です。今でも想像しただけで虫唾が走ります。病院には頻繁に消毒に通うことになりました。傷の穴にぐりぐりと消毒の棒を突っ込まれる感触想像できますか。今でも忘れない強烈な思い出の一つです。

高校の思い出は、何といっても夏の合宿です。女子校の進学校ではありましたが運動部はとても盛んです。体育館の1階には合宿所があり夏になるといろいろな部が入替わり立ち代わり合宿をします。和室の大部屋と小部屋の2間と飲食店の様な立派な厨房があります。シャワールームもありますが、何故か水しか出ません。バスケット部のスタイルは「3泊4日地獄の合宿」と決まっています。まず食事。引退した3年生が食事係を担います。残すことは厳禁と言われ、乗じて大量の食事が用意されます。先ほどまで激しく動いて汗だくのまま降りてきての昼食は地獄です。そうめんでさえも超山盛りです。朝昼晩全て大盛りです。これ以上無理と思うほど胃に押し込み休憩してまた地獄の練習です。練習は倒れるかと思うほどハードです。そして3日目は毎年OG会です。伝統校が故にOG年齢層が広く親と同年齢の方々も来ます。OG対現役の試合も行います。緊張の連続です。BANちゃんは今でも緊張があると眠れないタチです。当時も翌日の練習を想像すると恐怖で眠れませんでした。大広間に現役生は雑魚寝です。皆疲れて爆睡しています。いびきや歯ぎしりとても女子高生が寝ているとは思えない環境の中少しでも寝れたらと一番端の窓際を陣取りました。当時はエアコンもなく窓は解放です。案の定眠れないまま夜が明けました。恐怖の1日の始まりです。そんな時、窓の外で足音が聞こえました。誰かが近づいてきます。BANちゃんは窓際ですし起きていますから気配は充分に分かります。そしてとうとう網戸を「ガタガタ」と開け始めました。BANちゃんが一番近くにいます。寝たふりしながら対策を考えますが恐怖しかありません。考えたあげく「コラー!!」と突然叫んでみたところ、その侵入者は一目散に逃げていきました。後ろ姿しか見えませんが多分男性です。網戸を開けて何をしようとしたのか。にしても相手も驚いたことでしょう笑。合宿も怖いとその恐怖体験は今でも鮮明に蘇ります。(謝)

### オフィスBANの3つのサービス



「ほっと安心サポート」サービス  
(生活マルっと支援)



「エンディング手続き」サービス  
(相続手続き代行)



やすらぎ不動産アドバイス」サービス  
(売却コンサルティング 転居支援)

ファイナンシャルプランナーで不動産取引実務経験のある社会福祉士として 経済的側面と福祉的側面を織り交ぜた温かなサポートが得意です

相続手続  
どうしよう

後見制度  
相談したい

書類が多くて

独りでこの先  
不安だ

入院手術  
独りで難しい

不動産売却  
分らない

遺言書  
書きたい

施設入所  
考えたい



高齢者の生活を家族のように支える、

信頼と実績の社会福祉士があなただけに

伴自ら心を込めて 安心と笑顔をお届けします

発行元 / オフィスBAN(社会福祉士伴行恵事務所)

シニアの安心と笑顔を支えるパートナー 伴行恵

TEL 070-6994-9517